

# 員

イ  
ン

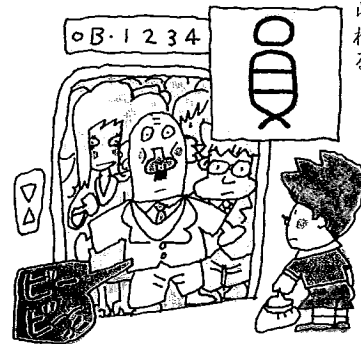
〔3年〕

10画  
尸 冂 員 員 員

とめる

なりたち 円い形を表した口

と、貨幣の意味の貝との会意  
形声字で、今の音は円の慣用  
音。円い形の貨幣のこと。円  
(圓)の本字。転じて、貨幣の  
数、物や人の数、の意味に用い  
られる。



いみじゆく

▼人や物の数。  
員数：①人や物の数。②ある一定の数。定数。例員数外人員：人の数。例人員過剰定員：定まった人数。決められた人数。例クラスの定員。

満員：①定員に達すること。②人が一杯に入っていて、それ以上入らないこと。

▼組織を構成する人。メンバー。

職員：会を組織している人々

職員：官庁や学校などで働く人。

例 職員会議

教員：教師。先生。

議員：国会や地方議会などで議決の権利をもっている人。

例 衆議院議員

委員：団体員の中から選ばれ、代表で特定の仕事に当たる人。

# 韻

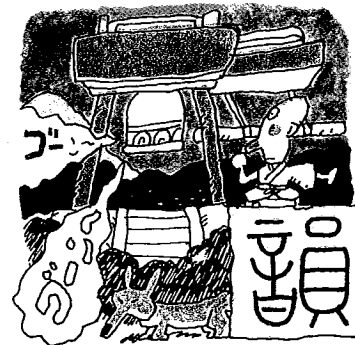
イ  
ン

19画  
音 音 韻 韻 韻

「なかく

なりたち 数の意味の貝と、

音との会意形声字。音の数と  
いう意味の字で「音の種類」の  
こと。音声には響きの異なつ  
た種々の音声がある。その一  
つ一つを韻という。また、「響  
き」の意味。転じて、「趣」。



いみじゆく

▼響き。音や声のひびき。  
余韻：①鐘を突いた後などに残る響き。②後まで残る味わい。③言葉で表現されたほかに感じられる趣。

松韻：松を渡って吹く風の響き。

▼趣。様子。味わい。

風韻：趣があること。例風韻のある文章。

気韻：気品のある趣。

神韻：言葉には表せないような優れた趣。

▼漢字の音の、語頭の子音を除く部分。

押韻：韻を踏むこと。

脚韻：押韻の一つ。詩歌で語句の終わりを同じ韻の言葉でそろえること。例 反頭韻

韻文：字数をきめ、調子を整えた文。詩や歌。

# 遺

イ  
ユイ

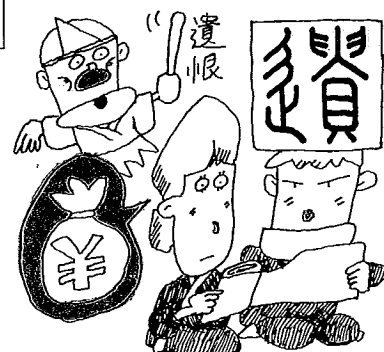
〔6年〕

15画  
口 中 音 音 遺

「なかく

なりたち 財貨の意味の貴と、

道の意味の辵(しんにょう)との会意形声字。道でお金を「失う」ことを表した字。転じて、忘れ残す・放置する・残しととめること。



いみじゆく

▼失う。忘れる。放置する。遺失：置き忘れり、落としたりして失うこと。例 遺失物

遺棄：置き去りにすること。例 死体遺棄

遺産：①故人が残した財産。例 遺産相続 ②前代の人が残した業績。例 文化遺産

遺言：故人が言い残した言葉

遺族：家族のうちのある者が死んで、後に残された家族。

遺恨：いつまでも残つて忘れられない恨み。

遺憶：残念なこと。例 遺憶の意を表明する。

▼漏らす。こぼす。

遺漏：漏らすこと。手落ち。

▼残つたもの。漏らしたものを拾う。遺失：漏れ残つたものを拾うこと。

# 貴

おん  
キ

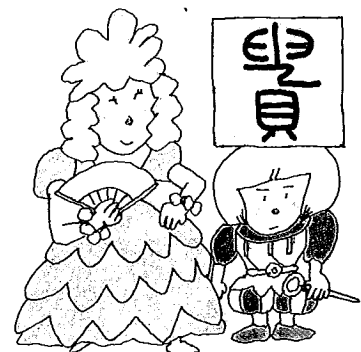
〔6年〕

12画  
口 中 音 音 貴

「なかく

なりたち 卑(申と乙(ニ))との

会意で、物を蓄える意味と、財貨の意味の貝との会意形声字。財貨を蓄えた人」という意味の字。「身分の高い人」。



いみじゆく

▼身分が高い。貴人：地位や家柄の高い人。貴族：身分が高く、社会的な特権を持つ家柄の人。

貴婦人：身分の高い家柄の女性。

貴公子：身分の高い家柄の若者。

高貴：身分などが高くて尊いこと。

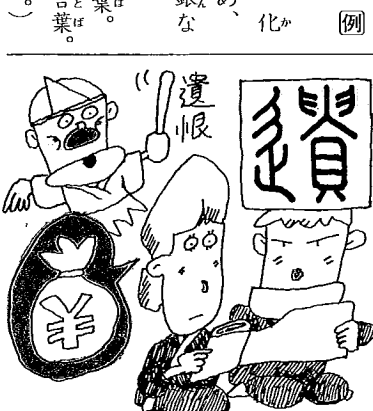
富貴：富があり身分も高いこと。

▼尊い。尊ぶ。価値が高い。貴重：非常に大切なこと。例 貴重品

貴金属：産出量が少なく、化学変化を受けにくいいため、価値が高い金属。金や銀など。

▼相手への敬意を表す言葉。貴殿：相手を敬って呼ぶ言葉。(手紙の中で用いられる。)

# 貴



遺恨